夏休みの家族旅行「予定している」7割

JTBアンケート調査

ＪＴＢは、「今年の夏休みの家族旅行」に関するウェブアンケート調査を実施し、その結果を７月31日に発表した。それによると、家族旅行を「予定している」と回答した人は全体の７割だった。

「あなたは今年の夏休みに旅行を予定しているか」の質問に対して、「旅行を予定している」は70・3％だった＝図1。昨年の回答が63％だったので、約7ポイントの上昇となった。夏期ボーナスの増加などにより所得の向上が見込まれているため旅行意欲は高いと考えられる。

「今年の夏休みは誰と一緒に旅行をしたいか」の問いでは、「家族」の回答が75・8％と最も多く、次いで「友人・知人」が8・0％、「ひとり」が7・5％、「パートナー」が7・4％という結果だった＝図2。夏はやはり家族で旅行を考えている人が多い。

「家族旅行は誰の意見が最優先されるか」は、「家族全員」が23・4％、次いで「妻」が21・4％＝図3。やはり家族旅行は家族全員で決める派が多い結果となった。夫婦のみの家族の場合は夫よりも妻の意見が優先される結果となった。

家族旅行を決める際に一番重視する項目は何か＝図4。「行き先」を最も重視する回答が39・4％、次いで「日程」が33・6％と、この2項目で全体の7割以上を占める結果となった。「行き先を決めてから何をするか考える」（40代女性）、「行ったことのないところに行きたいので」（30代男性）など、行き先を選んでから旅行の計画を立てたいという人と、「家族で休みがとれる日でないと旅行に行けないから」（20代女性）、「一番長い休みが取れる日を選びたいから」（50代男性）、「家族の仕事や学校の休みに合わせる必要があるので」（60代男性）など、家族のスケジュールを合わせるのが大変なので、まずは日程を重視したいという意見が多くあった。

今年の夏休みに家族旅行に行くとしたら何日間の日程で行きたいかは、「3日間」が35・4％、「2日間」が25・0％と上位にあがっている＝図5。昨年と同様に短めの日程で行きたいと回答した人が約6割となった。「日帰り」が3・4％と少ないことから、やはり夏休みの家族旅行では1泊以上したいとの考えが多いようだ。

決めるのは「家族全員」

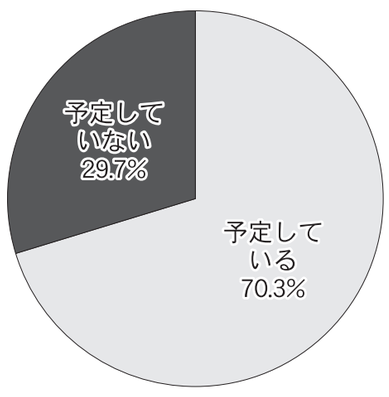

図1　夏休みに旅行を予定しているか

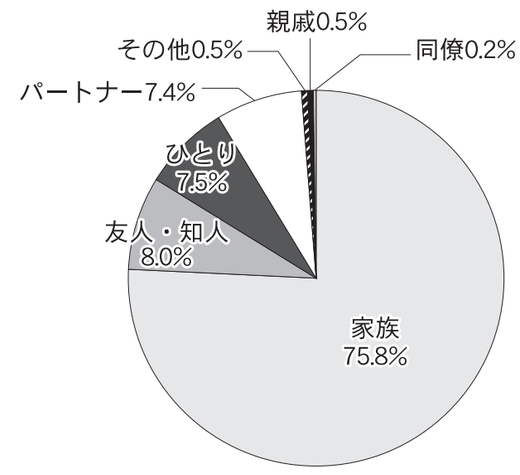

図2　今年の夏休みは誰と一番旅行をしたいか

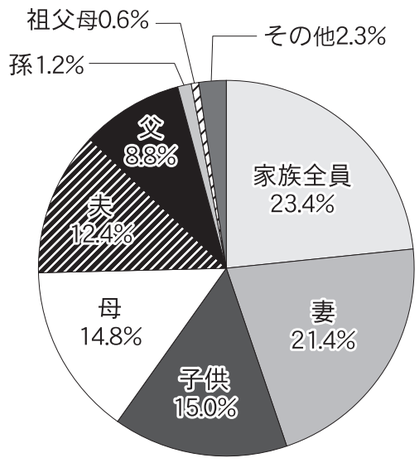

図3　家族旅行は誰の意見が最優先されるか

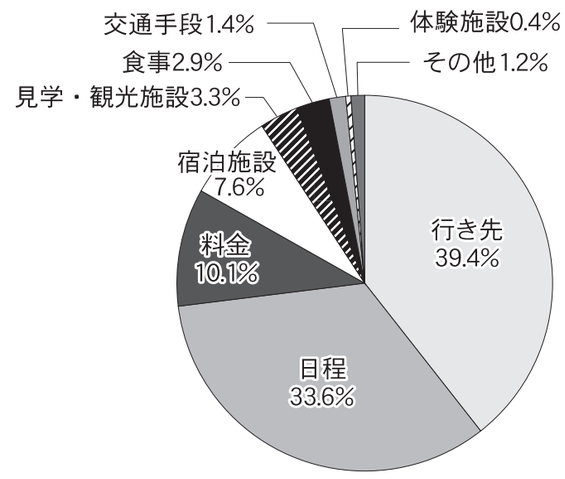

図4 家族旅行を決める際に一番重視する項目は

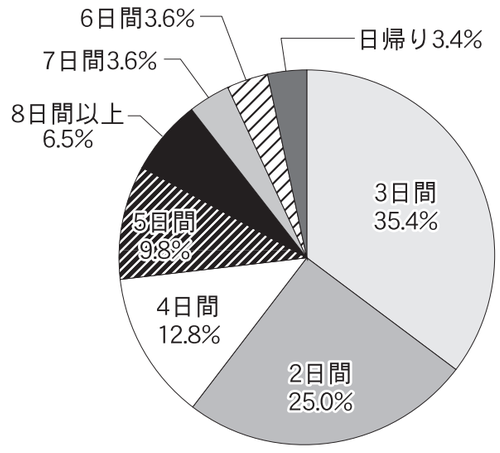

図5　何日間の日程で行きたいか

表　家族旅行で一番行きたい場所はどこか（回答数）

国内　※（　）は昨年の順位			海外　※（　）は昨年の順位		
1位	北海道（1位）	608	1位	ハワイ（2位）	651
2位	沖縄県（2位）	329	2位	ヨーロッパ（1位）	539
3位	長野県（3位）	143	3位	グアム・サイパン（3位）	246
4位	大阪府（6位）	91	4位	台湾（4位）	171
5位	千葉県（9位）	85	5位	アメリカ・カナダ（5位）	170
6位	東京都（5位）	82	6位	オセアニア（7位）	103
6位	静岡県（4位）	82	7位	その他アジア（6位）	99
8位	石川県（—）	76	8位	シンガポール（8位）	96
9位	神奈川県（8位）	47	9位	ベトナム（—）	66
10位	青森県（—）	45	10位	香港・マカオ（10位）	60

行きたい場所は「北海道」

今年の夏休みに家族旅行に行くとしたら一番行きたい場所はどこか＝表。国内は今年も「涼しい気候」をキーワードに、1位「北海道」、3位「長野」と避暑地が上位に入った。

1位の北海道は「涼しい場所」を理由にあげる人が多く、避暑地として選択したという意見が大多数を占めた。他には「おいしい海の幸とスイーツを食べに行きたい」（30代女性）、「景色がきれいでおいしいものがたくさんあり、温泉も楽しめるから」（50代女性）、「美瑛・富良野のラベンダー畑をはじめとする大自然と温泉に癒されたい」（40代男性）、「花畑の季節だから利尻・礼文島に行きたい」50代男性）など、「温泉」や「景色」「食事」を楽しみたいと回答する人が多い傾向となった。

2位の沖縄は、「海がきれい」「のんびりしたい」などの理由が多くあげられた。他には「美ら海水族館にぜひ行ってみたいので」（30代女性）、「子どもが行ったことがない沖縄と戦後70周年の雰囲気を感じてみたい」（50代男性）、「離島に行きたい」（40代女性）などがあった。

3位の長野も北海道と同様に避暑地として選択をし、自然を満喫して温泉でゆっくりしたいとの意見が大多数だった。具体的に「軽井沢」「上高地」の地名をあげる人もみられた。

海外はハワイが1位になり、2位は「ヨーロッパ」、3位は「グアム・サイパン」に。1位のハワイ、3位のグアム・サイパンは共通して、ビーチリゾートでゆっくりしたい方面として選択する人が多い傾向となった。その他、ハワイは「家族で行っても安心して遊べそうだから」（40代女性）、「身近な人の海外旅行はほとんどがハワイだから」（50代女性）、「子どもにとっては海外旅行は初めてとなるため、多くの日本人が旅行先に選んでいるような比較的安心で、外国語にも困らない場所が良いから」（40代男性）など、家族旅行での行き先として最適なようだ。一方、グアム・サイパンは「飛行時間が短い」「時差が少ない」など、日本からの距離も近く、小さな子どもと一緒でも海外旅行を楽しめるといった意見が多くみられた。

2位のヨーロッパを選んだ理由は、「歴史ある街並みを楽しみたい」「世界遺産がある」など、ヨーロッパの文化や世界遺産を観光の目的にしたいと考えている人の意見が多くみられた。その他「スイス」「イタリア」「フランス」「ドイツ」に訪れたいなど選択肢も豊富な旅行先として選ばれていることがうかがえる。

今年の夏休みに家族旅行に行くとしたら旅先では一番何をしたいか＝図6。最も多かったのは「観光」で30・9％、次いで21・6％の「休養（リラックス）」だった。

「観光」を選んだ人は、「新しいものを見たりしたいので観光地はチェックする」（30代女性）、「日常生活では見られないものを見たい」（40代男性）など好奇心旺盛に観光を楽しむことを重視しているようだ。

また、次いで多かったのは「休養（リラックス）」となった。「家族でのんびりしたいから」（40代女性）、「家族の絆を深めたい」（30代女性）など、アクティブに行動するよりも家族でゆったりのんびり過ごしたいと考えている人も多いようだ。

旅先では「観光」で過ごす

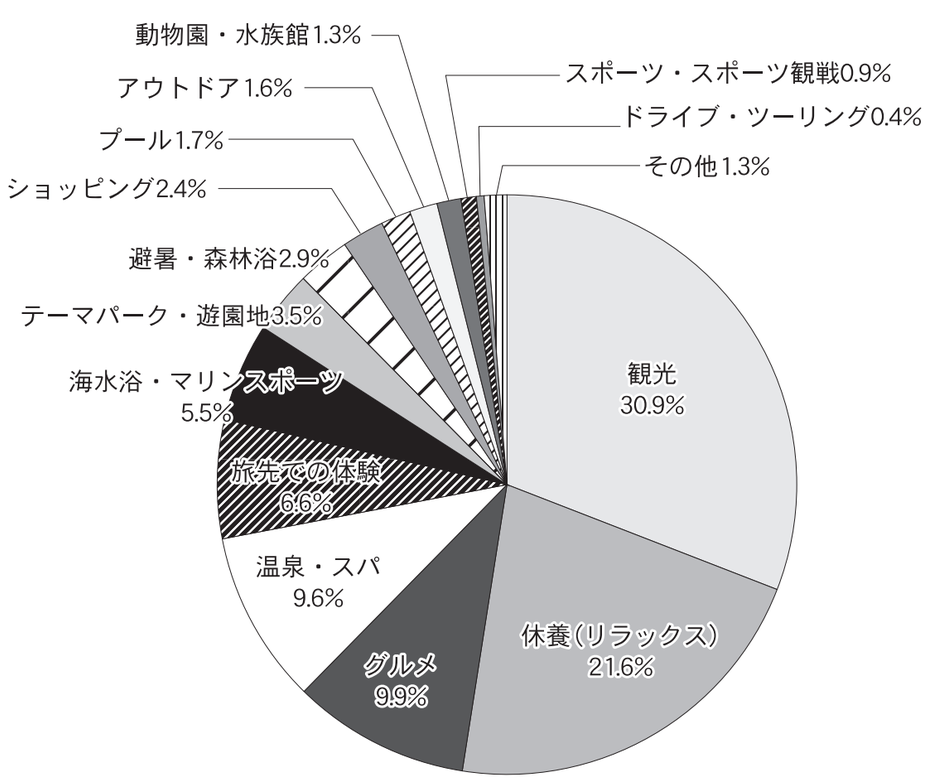

図6　旅先では一番何をしたいか